

2001 2002 **ジャパン - グアム ヨットレース 実施要綱** 2001. 7.19

1. **共同主催**

財団法人日本セーリング連盟 (JSAF)  
財団法人日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎  
(以下「JSAF 外洋三崎」と省略)  
マリアナスヨットクラブ (MYC)

**大会役員**

大会 会 長 小田 泰義 (財)日本セーリング連盟専務理事  
副会長 川久保 史朗 JSAF 外洋三崎 会長

**運営-2001 2002 ジャパン-グアム ヨットレース実行委員会 >**

実行委員長 高田 尚之 J S A F 外洋三崎  
副実行委員長 富田 稔 J S A F 外洋三崎  
ブロック マリアナズ・ヨットクラブ  
レース委員長 鈴木 保夫 J S A F 外洋三崎  
副委員長 赤間 匡 J S A F 外洋三崎

プロテスト委員長 榛葉 克也 J S A F 外洋三崎  
総務委員長 野田 祐二 J S A F 外洋三崎  
副委員長 久保 泰史 J S A F 外洋三崎  
通信委員長 池野 康雄 J S A F 外洋三崎  
広報委員長 中里 英一 J S A F 外洋三崎  
財務委員長 安木 邦貴 J S A F 外洋三崎

**協力** グアム政府観光局 (予定)

<後援> 神奈川県三浦市 (予定)  
三浦市観光協会 (予定)  
三浦市ヨット協会 (予定)

**協賛** 笹川スポーツ財団 (予定)

コンチネンタルミクロネシア航空 (予定)  
クアーズジャパン (株) (予定)

2. **日程**

- 1) スタート 2001年12月24日(月)12.00(正午)(予定)
- 2) コース 小網代沖~グアム島アプラハーバー
- 3) 距離 約1,334海里

- 4) レイトスタート  
レース委員会が正当と認めた理由により、スタートに間に合わなかった艇は、正規のスタート時から 24 時間以内にスタートすれば出走艇とみなされる。その場合その艇の所要時間は正規のスタート時から計算される。
- 5) タイムリミット  
タイムリミットはこれを設けない。

### 3 . 摘要規則

3-1 次の規則を適用する。

- 1) 国際セーリング競技規則 2001 2004(以下 R R S とする)
- 2) JSAF SPECIAL REGULATIONS 2001 がコリ- 1  
(以下 JSAF - SR とする)
- 3) 2001 J G Y R 特別規定
- 4) 海上衝突予防法
- 5) 実施要項
- 6) 帆走指示書

### 4 . 責任の所在

本レースのレース委員会はレースの公平な成立に責任を担う。

艇と乗組員の安全の確保は、オーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で十分な耐航性を有するように保持し、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ、経験十分なクルーを乗り組ませるように万全を尽さなければならない。オーナーは船体、スパー、リギン、セール及びすべての備品を確実に整備し、また特別規定安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべてのクルーに熟知させておかなければならない。

本レースのようにレース海域が、レース実行本部より管理できない範囲にあるため、主催、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員及び安全について、何ら責任を負う事が出来ない。又艇の帆走性能は乗員の経験、トレーニング、艇の耐航性能による所が大きい。よってレース艇がスタートをするか否か、あるいは、レースを続行するか否かはすべて各艇の責任でのみ決定される。

オーナー及び艇長は上記の基本規定を乗組員各人に周知徹底しておくこと。

また乗組員はその家族にこの基本規定を周知徹底しておくこと。

### 5 . 2001 J G Y R 特別規定

5-1 参加艇の資格は以下のとおりとする。

- 1) LOA 10m以上のモノハル艇

- 2) JSAF 外洋本部の登録艇及びレース委員会が適当と認めた艇。但し、オーナーは JSAF 外洋系加盟団体の会員であること。  
(外国船籍の艇においては JSAF 登録艇、JSAF の会員であるという条項を除く、  
ただし RRS 75.1 の要件を満たしていること)
- 3) JSAF SR カテゴリー 1 を満たし、JGYR 特別規定に合格した艇。
- 4) 全ての参加艇の内、有効な IMS 証書を所持している艇はそのコピーを提出すること。  
所持していない艇の内、期限切れの IMS 証書を所持している艇は Stability Index が 115° 以上であり、その後その艇を改造していない旨を記載したオーナーの署名入り申告宣誓書を提出すること。  
更にそれ以外の艇は、デザイナーかビルダー、若しくはその双方から証明された Stability Curve か LPS (復原力消失角) の記載されている文書を提出すること。  
また、同型艇に Stability Curve か LPS (復原力消失角) のデータがある場合にはその記載がある書面に、艇を改造していない旨を記載したオーナーの署名入り申告宣誓書を添えて提出すること。  
スタビリティインデックスが 115° 度以上でない艇に関しては一定の条件において、参加を可能とするため、申し出ること。

#### 5-2 次の無線設備を搭載している艇

- 1) 自動位置通報装置 < アルゴスまたはオーブコムを検討中 >  
(トータル 3 台は実行委員会が準備予定)
- 2) 衛星系 406MHZ EPIRB (登録された ID をレース委員会に通知)
- 3) 国際 VHF 無線
- 4) 予備の無線設備 (HF 帯 SSB 船舶無線か HF 帯アマチュア無線、  
又は予備の衛星電話)

#### 5-3 安全に関する追加規定

参加乗組員全員は-2001 2002 ジャパン・グアムヨットレース実行委員会が準備する 2001-2002JSAF 特別規定 第 6 章に基づくトレーニングを完了していなければならない。  
そのほか、以下を満足すること

- 1) ジャックステイは 12 ヶ月以内のもの
- 2) バッテリーのうち 1 つは密封型もしくはゲル型を搭載することを推奨する。
- 3) 乗組員全員はパーソナル高輝度ランプかストロボライトを携帯すること
- 4) セイフティ・ハーネスは最近のもので、ハーネスラインはおよそ 2 m 以内のもの
- 5) Waterproof Handheld VHF に付いては防水ケースで代用しても良い。
- 6) 25W 以上の据置き型 VHF に付いては防水性に十分考慮した設置をする。

#### 5-4 参加艇の艇長 (スキッパー) の資格

JSAF の会員で、オーバーナイトセーリングを含む 100 マイル以上のセーリングを最低 5 回以上、若しくは一回で 500 マイル以上のセーリング経験を持っていること。  
(自己申告の経歴書提出) 外国籍艇のスキッパーの資格も同じ。

#### 5-5 参加艇の乗組員（クルー）の資格

J S A Fの会員で、オーバーナイトセイリングを含む通算 100 マイル以上のセーリング経験を持っていること。（スキッパーの認証状提出）外国籍艇のクルーの資格も同じ。

5-6 艇長を除く乗員数は5名以上とする。

5-7 ヨット賠償責任保険（対人、対物）に加入していること。

搭乗者傷害保険は一人死亡時 1 億円相当以上で乗員全員分必要。さらに捜索救助費用保険を付帯していること。外国籍艇についても同じ。

5-8 予備のメインセール(一枚)を積むことができる。また、レース委員会は位置検出システムとして CLASS B の EPIRB を携行すること及び、JSAF SR 4.20 のグラムパックを備えておくこと。また JSAF-SR 第 5 章の個人装備品はカテゴリー 0 の装備品も推奨する。  
又アメリカ US セーリングから注意されている、同じアドレスを持つ複数の 406Mhz EPIRB が同時に信号発射される場合、衛星受信が時により誤受信する事を注意して欲しい。

5-9 各艇から提出される報告に虚偽が認められた場合にはレース委員会はそれを理由に艇、及び艇長または乗組員の参加を拒否することができる。

5-10 クラスは I M S , ORC-Club , とする。

ただし、各クラスとも出場艇が 3 艇に満たない場合にはレース委員はクラス分けを見直す場合がある。

#### 5-11 広告

広告コード新カテゴリーC を適用し、ハルの前 25%は主催者が選択したスポンサー広告のために使用する。

マスト・ブームは各艇の自由とし、ヘッドセール以外、（スピナーカを除く）のセールに付いても各艇の自由な広告を許可されるが、セールナンバーから十分に離さなければならない。

競技者の衣類その他に表示する広告も自由である。

#### 5-12 著作権（新 ISAF Media Rights の適用）

2001 2002 ジャパン・グアムレースに関する全ての著作権は JSAF 加盟団体 外洋三崎に所有される。

また、雑誌、報道誌、インターネット等へ記事を書く場合には J S A F 外洋三崎に事前に連絡をすること。

（エントリーを提出した全ての参加艇は、この ISAF による新しい著作権法の適用を理解し、受諾したこととする。）

## 6. 参加申込み

### 6-1 必要書類

レース参加申込書(参加料振り込み証書のコピーを添付)

### 6-2 エントリーフィー

1艇 150,000円 乗員一人 15,000円(予定)

(参加艇はエントリーフィーを下記に振り込むこと)

### 6-3 締め切り日

2001年11月12日(金)17:00

6-4 レイトエントリーは12月1日(水)の出艇申告時まで受け付ける。

レイトエントリーの場合エントリーフィーは1艇250,000円  
乗員一人20,000円とする。

## 振込先

銀行 支店 普通預金口座

## 申込先

J G Y R 2001-2002 実行委員会 高田 尚之

044 233 1640

Fax 044 233 1658

## 7. 帆走指示書

11月1日以降、エントリーした艇に随時送付する。

## 8. 賞

各クラス共

- 優勝
- 2位
- 3位
- ファーストホーム賞
- その他特別賞

(各賞は参加艇数により変更する場合がある)

完走証明書 ...・(完走した全艇)

## 9 . 出国手続

9-1 日時：2001年12月23日(金)08:00から(予定)

9-2 場所：未定

## 10 . インスペクション

レースの公平さを保持するため、またオーナー、艇長の避けられない責任を喚起するため厳正に行う。

### 10-1 スタート前

12月22日(木)に油壺にて行う。(予定)

不合格となった艇は12月24日16:00までに(各日10:00~16:00)再検査を許される。(ただし、二回まで)(予定)

(再検査手数料は10,000円)

3回目の検査で不合格となった艇は参加を取り消される。この場合、参加費用、検査手数料は返却しない。

### 10-2 フィニッシュ後

レース委員会の判断により、フィニッシュした全艇又は任意に選択した艇に対して実施される。

a.日時：フィニッシュ直後

b.場所：マリアナスヨットクラブ

## 11 . 出艇申告

a)日時：2001年12月1日(水)17:00まで

b)申告先：JGYR20001-2002 実行委員会事務局 (FAX A4 サイズに統一)  
FAX 番号 044 233 1658

1. 出艇申告書(書式1.2.3.)
2. 特別規定検査カテゴリー1合格証(コピー)
3. JSAF 会員証のコピー(全員分)
4. ヨット賠償責任保険証書(コピー)
5. 艇長自己経歴申告書
6. クルー経歴認証状
7. グラム滞在予定表
8. フィニッシュ後の運行予定表(コピー)
9. クルーリスト税関提出用(英文、邦文各一部)(コピー)
10. 競技参加契約書(オーナーとクルー全員の署名と連絡先)

### 12 . 艇長会議

レース参加艇の艇長は必ず参加すること。(代理人の参加は不可)

12-1 日時：2001年12月23日(土)17:00~18:00 (予定)

12-2 場所：未定

### 13 . 前夜祭

13-1 日時：2001年12月23日(土)18:00~20:00 (予定)

13-2 場所：未定

13-3 会費：一人5000円 [予定]

### 14 . 表彰式・パーティー

14-1 日時：2002年1月5日(水)16:30から(現地時間)(予定)

14-2 場所：グアム州知事公邸 (予定)

14-3 会費：未定

### 15 . 泊地

15-1 日本：有り。油壺他、詳細は別途案内をする。

15-2 グアム：アブラハーバー内 MYC 泊地

(上記の泊地における艇の管理は、艇のオーナー及び艇長に責任がある。)

JGYR2001 2002 実行委員会では、グアムでの艇の短期係留、について相談に  
応ずる。